

はまぎん高格付国債ファンド(為替ヘッジ70) 〈愛称 オールラウンダー〉

追加型投信／内外／債券

償還 交付運用報告書

第78期(決算日2019年6月3日) 第79期(決算日2019年7月1日)

第80期(決算日2019年8月1日) 第81期(償還日2019年8月26日)

作成対象期間(2019年5月8日～2019年8月26日)

第81期末(2019年8月26日)

償還価額(税込み)	9,007円61銭
純資産総額	178百万円
第78期～第81期	
騰落率	2.3%
分配金(税込み)合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「はまぎん高格付国債ファンド(為替ヘッジ70)」は、2019年8月26日に償還いたしました。

当ファンドは、主として、世界の高格付国の国債を中心に、中長期のソブリン債券に実質的に投資を行なうとともに、原則として、純資産総額の70%を目標として対円での為替ヘッジを行なうことにより、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告申し上げます。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

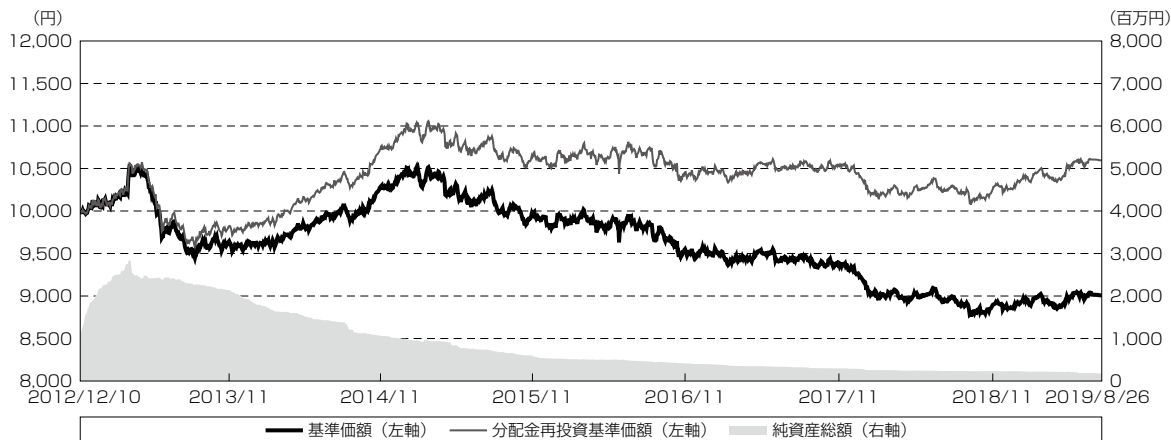
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2012年12月10日～2019年8月26日)



設 定 日：10,000円
 第81期末（償還日）：9,007円61銭（既払分配金（税込み）：1,560円）
 騰 落 率：6.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の高格付国の国債を中心に、中長期のソブリン債券に実質的に投資を行なうとともに、原則として、純資産総額の70%を目標として対円での為替ヘッジを行なうことにより、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・保有債券の利回り低下（債券価格は上昇）に伴うキャピタルゲインを得たこと。

<値下がり要因>

- ・カナダドル、ノルウェークローネ、オーストラリアドルが円に対して下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

（2019年5月8日～2019年8月26日）

項 目	第78期～第81期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 19	% 0.206	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（ 9）	（0.098）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 9）	（0.098）	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価
（受託会社）	（ 1）	（0.010）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	7	0.078	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	（ 4）	（0.049）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 0）	（0.001）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	（ 3）	（0.029）	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.284	
作成期間の平均基準価額は、8,992円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

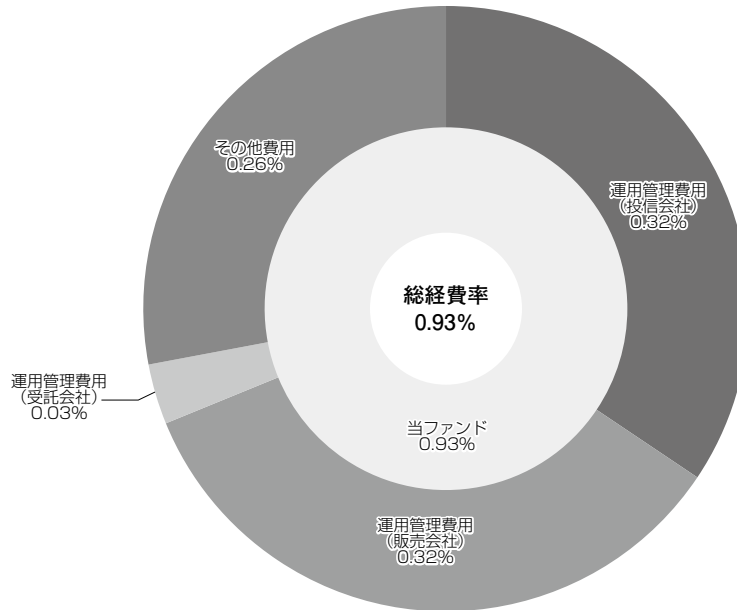
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

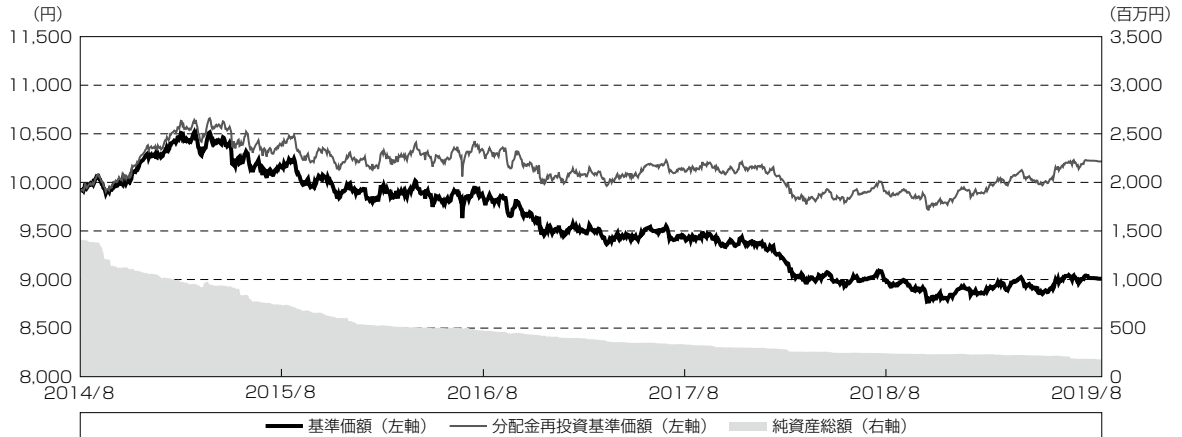
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年8月1日～2019年8月26日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年8月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年8月1日 決算日	2015年8月3日 決算日	2016年8月1日 決算日	2017年8月1日 決算日	2018年8月1日 決算日	2019年8月1日 決算日	2019年8月26日 償還日
基準価額 (円)	9,912	10,166	9,853	9,401	8,966	9,016	9,007.61
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	240	240	240	240	240	-
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	5.0	△0.7	△2.2	△2.1	3.3	△0.1
純資産総額 (百万円)	1,415	737	474	329	239	183	178

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2012年12月10日～2019年8月26日)

(債券市況)

期間中、投資対象とするカナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

設定時から2013年12月下旬にかけては、総選挙で多数派勢力が誕生せず混迷が続いたイタリア政局の行方やキプロスの金融支援策を巡る混乱などが利回りの低下要因となったものの、米国や欧州の景気回復を示唆する経済指標の発表を受けて債券への逃避需要が後退したことや、ノルウェーでは国債発行の増額による債券市場の需給悪化が懸念されたことなども影響したことから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。2014年1月上旬から2016年7月上旬にかけては、世界経済の成長鈍化懸念や、ウクライナや中東における地政学的リスクの高まり、国民投票により英国の欧州連合（EU）離脱が決定し投資家の安全資産への逃避需要が強まったこと、カナダやノルウェー、オーストラリアの中央銀行が政策金利の引き下げを決定したことなどを受けて、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。2016年7月中旬から2018年10月上旬にかけては、米国と中国との間の貿易摩擦の激化による世界経済の成長鈍化懸念が広がったことなどが利回りの低下要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）やカナダ、ノルウェーの中央銀行による政策金利の引き上げ、米政権による積極的な景気刺激策が財政赤字の拡大とインフレ期待につながるとの見方が強まったこと、また、欧州中央銀行（ECB）が量的緩和を2018年末で終了するとの方針を決定したことなどから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇しました。2018年10月中旬から償還時にかけては、米中間の貿易摩擦の深刻化や世界的な景気を巡る懸念の高まりなどから各国中央銀行における追加緩和政策への期待が強まるなか、FRBやオーストラリア準備銀行（RBA）による利下げの実施や、軟調な米国やユーロ圏、ドイツの景況感指数の発表などを背景に、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

(為替市況)

信託期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

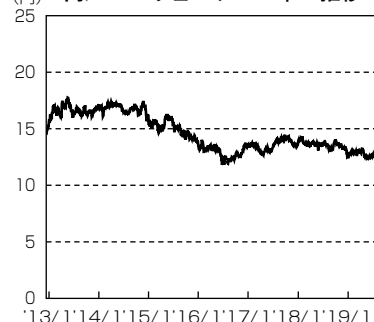
(円) 円／オーストラリアドルの推移



(円) 円／カナダドルの推移



(円) 円／ノルウェークローネの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2012年12月10日～2019年8月26日）

（当ファンド）

当ファンドは、「世界国債マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2012年12月10日の設定以来、約6年8ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2019年8月26日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申しあげますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申しあげます。

（世界国債マザーファンド）

世界各国の長期債利回り、短期金利の水準、投資可能な銘柄やその流動性を考慮してポートフォリオを構築しました。

為替ヘッジあり部分の70%、為替ヘッジなし部分の30%の両方について、期間を通じてカナダ、ノルウェー、オーストラリアを投資対象としました。期間中、長期金利の水準に合わせて各通貨の投資比率の調整を行ないました。

また2019年8月に繰上償還となることが決定したことから、2019年7月末に円キャッシュのみを保有する安定運用に切り替えました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2012年12月10日～2019年8月26日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2012年12月10日～2019年8月26日）

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は1,560円（税込み）となりました。また、第78期から第80期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりとしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第78期	第79期	第80期
	2019年5月8日 ～2019年6月3日	2019年6月4日 ～2019年7月1日	2019年7月2日 ～2019年8月1日
当期分配金	20	20	20
（対基準価額比率）	0.224%	0.221%	0.221%
当期の収益	11	12	7
当期の収益以外	8	7	12
翌期繰越分配対象額	273	266	253

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

お知らせ

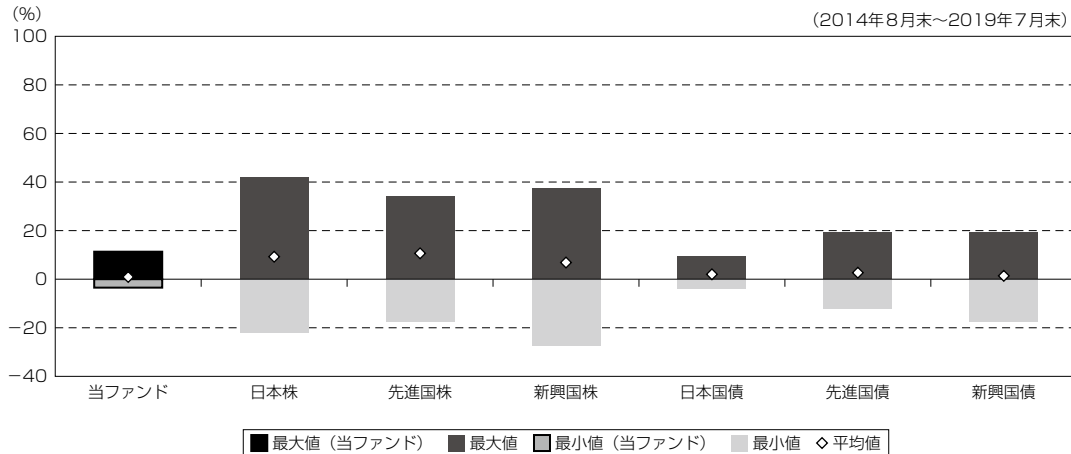
2019年5月8日から2019年8月26日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2012年12月10日から2019年8月26日までです。	
運用方針	主として「世界国債マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	はまぎん高格付国債ファンド (為 替 ヘ ッ ジ 70)	「世界国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界国債マザーファンド	世界の中長期ソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、世界の高格付け国の国債を中心に、中長期ソブリン債券に投資し、インカム収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行ないます。原則として、信託財産の純資産総額の70%に相当する部分を目標として対円で為替ヘッジを行ないます。ポートフォリオの構築にあたっては、利回りの水準、信用力、流動性などに加えて、対円で為替ヘッジを行なう部分については為替ヘッジコストも考慮した上で、組入国やその配分比率を決定します。なお、対円で為替ヘッジを行なう部分については、海外のソブリン債券への投資に替えて日本の国債へ投資する場合があります。	
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 3.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	0.9	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年8月26日現在)

2019年8月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

純資産等

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末（償還日）
	2019年6月3日	2019年7月1日	2019年8月1日	2019年8月26日
純 資 産 総 額	214,861,485円	191,736,160円	183,828,677円	178,218,502円
受 益 権 総 口 数	240,883,295口	212,324,519口	203,889,435口	197,853,301口
1万口当たり基準（償還）価額	8,920円	9,030円	9,016円	9,007円61銭

（注）当作成期間（第78期～第81期）中における追加設定元本額は1,325,345円、同解約元本額は48,713,407円です。